



いま、私たちの国はどこよりも暗く、凍えています。
2022/11/28の衛星画像 白線が国境、右上の輝きはロシアの首都モスクワ

再び、ヒマワリと小麦畑の大地を取り戻したい、私たちウクライナに生きのびる力をください。

衛星画像はNASA Worldview / ヒマワリ畑と小麦畑の画像は2006-08年撮影、いずれもパブリックドメインイメージ

ウクライナに
明かりをください。
温もりをください。
それは、遠い春への
希望になります。

ウクライナ三姉妹の チャリティー絵画展

2023年 2月15日(水)～19日(日) 10時～18時

豊橋市野田町175「とまり木のある家」

越冬募金は、2月26日まで受け付けます。(展示会場と鈴木ロッカクにて)

みなさんへ

10ヵ月前ロシアがとなりのウクライナに戦車やミサイルを使って攻め込みました。ロシアは、ウクライナの人たちが電灯やストーヴを使えないようにしています。ウクライナはとても寒い国ですから、子供たちも寒さにふるえながら生活しています。

戦争が始まったとき、ウクライナのとなりのポーランドという国に、坂本龍太郎さんという方がポーランド人の奥さんと住んでいました。坂本さんは、ウクライナから逃げてくる人々を助けたり、ウクライナでつらい生活をしている人たちに、着るものや食べるものや発電機をとどけたりしています。タブレットもテレビも使えない子供たちに、おもちゃをとどけたりもしています。

今回展示するのはウクライナの子供が、平和だったころのことを思い出して描いた絵です。これを見ながら、みなさんもウクライナの子たちがどんな気持ちで毎日をすごしているのか想像してみてください。

越冬募金にご協力ください。

ロシアによるインフラ施設の破壊により、ウクライナの多くの人々は暖房も光もない酷寒の生活へと追いつまれています。ウクライナの隣国ポーランドで支援活動に奔走している坂本龍太郎氏（長野県出身でポーランド在住）によれば、越冬支援の活動は緊急の度を増しており、発電機や寝袋、マットレスなどのほかにも、薪を作るための斧や電動ノコギリ、ろうそく、さらには子供たちが室内で過ごすためのカードゲームまでも搬入の対象にしているといえます。マイナス10度以上にもなるウクライナの冬を凍死せずに生き延びてもらうことが支援の緊急課題になっているのが実状だといえます。

今回展示するウクライナの子供たちが避難先で描いた絵から、平和への声なき声を聴きとっていただき、坂本氏たちの支援活動が途切れないうちの援助金の一部にさせていただきます。ご協力くださいますようお願いいたします。

現在物資を直接届けることが困難なため、募金を2月26日まで

①展示会場と ②「ポラン鈴木ロッカク 090-2349-5927」にて受付けます。

◆坂本龍太郎を支える会代表 竹下雅道（長野県在住）

◆豊橋での絵画展呼びかけ人 鈴木ロッカク（児童クラブポラン）
永田文子（とまり木のある家）

なお、今回のプロジェクトは、賛同していただいた皆様の善意によって実現しました。募金の全額はウクライナ支援のために使われます。活動をできるだけ多くの人に知っていただくために、商業利用を除き、印刷物のコピーやメールでの発信を自由にできます。

S A V E  U k r a i n e

ウクライナ三姉妹の チャリティー絵画展

会期 2023年2月15日(水)～19日(日)
10時～18時

イベント 2月19日(日) 14時～

- ・お話し会『ウクライナの民話など』
- ・オカリナ演奏会

とまり木の
ある家
(香民館)

豊橋市野田町字野田175



アングレリナ・ピェリツァ(15歳)



アデリナ・ピェリツァ(13歳)



アリビナ・ピェリツァ(12歳)

● ポーランドで避難生活を送る三姉妹からのメッセージ ●

私たちはウクライナのテルノピル州にあるクレメネチ出身です。今までここを出たことはありませんでしたが、ポーランドに3月の初めに来て、7か月ここで避難生活をしています。

4か月、学校に通っていましたが、言葉ができないのでとても大変でした。9月からウクライナの学校のオンライン授業を受けています。6月24日から8月末まで夏休みでした。3月から住んでいた場所には住めなくなりました。ポーランド政府からの補助が120日で終わってしまったからです。お母さんは働きたいと言っていますが、仕事を見つけるのは大変です。6月25日に引っ越して、今は研究所の部屋を借りて住んでいます。周りに友だちもいないので、夏休みは部屋で絵を描いて過ごしました。その絵が日本に送られることになって、うれしいです。いつか、私たちも日本に行ってみたいと思っているからです。

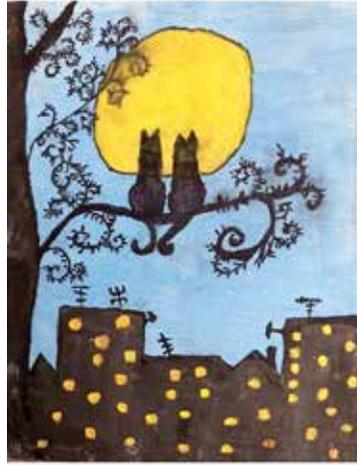
日本から本当にたくさんの支援をいただいているので、とても感謝しています。ポーランドに来てから、日本のことをたくさん知りました。平和になったらみなさんにも私たちの街に来てほしいです。山があって、教会があって、城があって、植物園もあります。

SAVE
いま、私たちに希望を
Ukraine



テルノピル州(上)と、クレメネチ(市街)

展示作品の一部(©作者自身)



「猫のいる街」アデリナ



「日本へありがとう」アリビナ



「夜に隠れる猫」アングレリナ



「ウクライナから世界の平和を」アリビナ



「ウクライナの猫とポーランドの猫の出会い」アングレリナ



「私の国、それはウクライナ」アデリナ



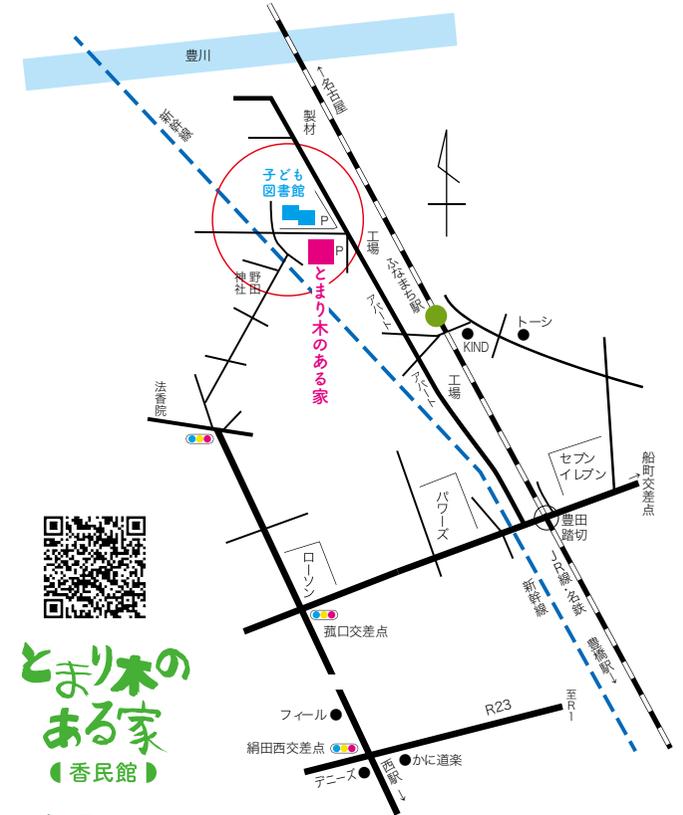
「平和を求めて」アリビナ



「ウクライナの友だち、ポーランドにいる私」アリビナ



「ウクライナに神のみ加護を」アリビナ



とまり木の
ある家
(香民館)

アクセス

- ▶行き 豊橋駅より飯田線豊川行き普通ワンマン3分。船町駅降車口は先頭車両(1両目)。(通過してしまう電車もあります。豊橋発ほぼ毎時27分、57分発)、船町駅より徒歩3分
- ▶帰り 豊橋行き乗車ドアは車輛中央です。船町発ほぼ毎時01分、31分発(10、19、21時以外)

とまり木のある家／豊橋市野田町字野田175 080-4549-9114(永田文子)
terakoyatoyohashi@i.softbank.jp